

特定非営利活動法人 成人白血病治療共同研究支援機構

設立趣旨

現在、多くの人々が白血病を始めとする血液疾患で苦しんでいます。これらの疾患に対し、各医療施設や医療従事者が治癒率と治療の質の向上を目指して努力しています。

診断や治療の過程においては、エビデンス(証拠)に基づく医療、すなわち、大規模の科学的な臨床研究によって得られた信頼できる成績を患者さんに提示し、これらに基づいて診断法や治療法を選択していただく医療が求められています。

しかし、エビデンスを創るような臨床研究には多数の患者さんの協力が必須であり、このような臨床研究の遂行は決して容易ではありません。とりわけ患者さんの数がそれほど多くはない白血病を始めとする血液疾患では、多くの医療施設が共同して質の高い臨床研究を行なうことが必要不可欠です。

そのためには、各医療施設や医療従事者が共同してこのような臨床研究に取り組める環境を作るとともに、患者さんやその家族を含む一般市民に対し、白血病を始めとする血液疾患に関する診断や治療の現状ならびに治療成績などにつき、信頼できる情報の提供と啓発が必要です。

そこで私たちは、成人白血病治療を中心とした共同研究を支援すると共に、血液疾患に関する調査研究、教育研修ならびに情報提供等を行い、血液疾患の治療技術、認識を向上させることにより、広く国民の健康増進に貢献しようと「特定非営利活動法人成人白血病治療共同研究支援機構」(略称 NPO-JALSG)を設立しました。(平成18年6月2日設立)

この機構は、より多くの血液疾患で苦しむ人々を救う活動を推進するという公益の観点に加え、血液疾患に関する社会環境の改善に貢献することを理念としており、営利を目的とする団体ではなく、特定非営利活動法人であります。

愛知県がんセンター名誉総長 大野 竜三